

地理
初步

K110.25
97

K110.25

97

露光量調整、重複撮影

師範學校編纂
文部省刊行

地理初歩

明治七年
八月改正



地理初歩

第一

人 民住居スル所ノ地球ハ、一ノ行星ニシテ、其形
圓キコト殆橙ノ如シ

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ
其周圍ハ、凡一萬零百三十五里ナリ、南北凡二千
二百二十三里ニシテ、其周圍ハ、一萬零百三十里
ナリ、

此地球表面ノ事又知り得ル學ヲ、ゼトガラヒト
ト云フ、

師範學校編纂
文部省刊行

地理初歩

明治七年
八月改正

地理初歩

第一

人民住居スル所ハ地球ハ一ノ行星ニシテ其形
圓キコト殆橙ノ如シ

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ
其周圍ハ凡一萬零百三十五里ナリ南北凡二千
二百二十三里ニシテ其周圍ハ一萬零百三十里
ナリ

此地球表面ノ事又知り得ル學ヲゼトガラヒ
ト云フ

「ポオガラヒト」トハ、即地理學ト云フ義ニシテ、地球表面ノ事ヲ説キ明クナリ、
 地理學ニ三種アリ○「ナチラ」ル「ポリチカル」マ「マ」チカルト云フ○「ナチラ」ル「ゼオガラヒト」ハ地形、山川、海島ナドノ、自然ニ由ルモノヲ説キ明ス學ナリ○「ポリチカル」ゼオガラヒトハ都府郡縣、城市ナドノ、政治ヨリ出ルモノヲ説キ明ク學ナリ○「マ」チカル「ゼオカラヒト」ハ地球ノ運動、方角、里數ナドノ、數學ニ關スルモノヲ説キ明ス學ナリ、

第二

人民ノ住居スレ所ハ地球ノ外面ナリ、
 地球ノ外面ハ、陸ト、水トニヨリテ成レルナリ、然レトモ、水ト、陸トハ其大サ同シカラステ、水ハ陸ニ比ズレハ、殆三倍ノ大サアリ、
 地球ノ外面ニアル陸ト、水トヲ示ス圖ヲ、地圖ト云フ、其地圖ニハ、全地球ヲ示ス者アリ、或ハ半面ヲ示スモノケリ、
 地圖ヲ、東西ニ分ナテ、東ノ半面ヲ示シタルヲ、東半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半面ヲ示シタルヲ、西半球

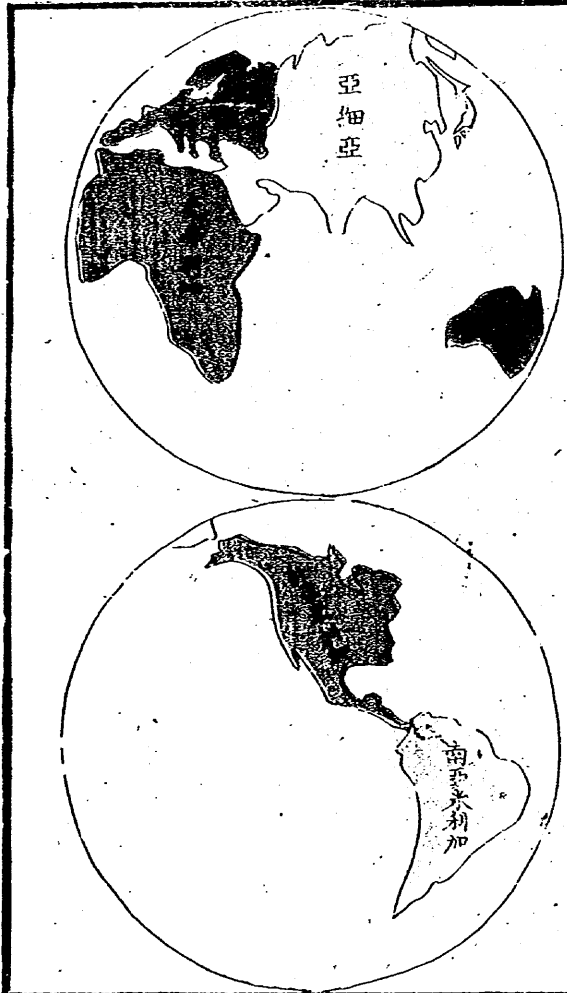
地理初歩

文部省

ノ圖ト云フ

東半球圖

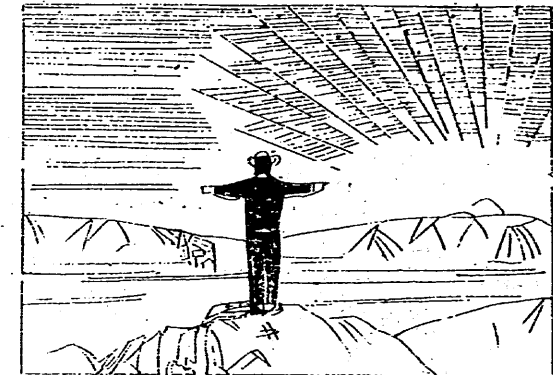
西半球圖



第三

地球ニ四個ノ方位アリ、コレヲ東西南北ト云フ

今圖ヲ以テ、東西南北ヲ示サ



此小兒ハ右ノ手ハ朝日ノ方
 ヲ指シ左ノ手ハ夕日ノ方ヲ
 指セリ是小兒ノ右ヲ東トシ、
 小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル
 ベレ然ラバ小兒ノ背ハ南ニ
 シテ面ハ北ニ向ヘリ

地理初歩

三

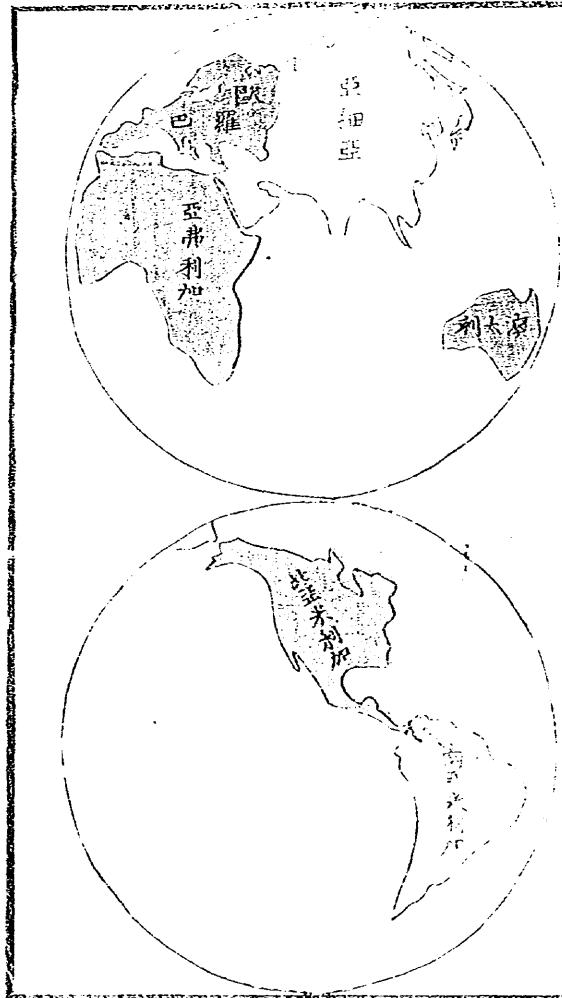
文部省

東半球圖

西半球圖

東半球圖

西半球圖



第三

地球、四個ノ方位アリ、コレヲ東西南北ト云フ

今圖ヲ以テ、東西南北ヲ示サ

此小兒ノ、右ノ手ハ、朝日ノ方

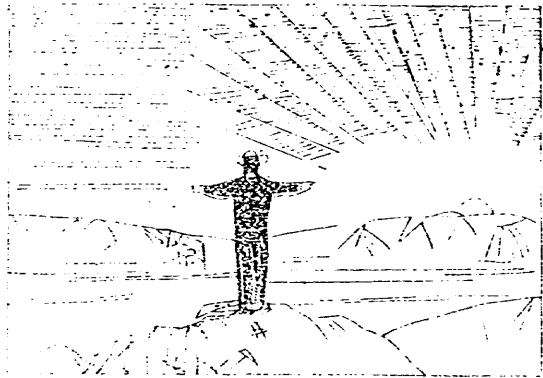
ヲ指シ、左ノ手ハ、夕日ノ方ヲ

指セリ、是、小兒ノ、右ノ東トシ、

小兒ノ、左ヲ、西トスルヲ、知ル

ベシ、然ラバ、小兒ノ、背ハ、南ニ

シテ、面ハ、北ニ向ヘリ。



地理の図

地理の図

此方位ヲ地球ノ四方ト云ス

第四

東西南北ニ又中間ノ方位アリ東北西北東南西南是ナリ

地球ノ中彩色ヲ施セル部分ヲ陸トス其白キ者ハ水ナリ

爰一畫ケルハ地球上ノ三大陸ニシテ其周邊ハ大洋ナリ大洋トハ海ノ大ナル者ヲ云ノ三大陸ハ東大陸西大陸及澳大利ニシテ東大陸又分チテ三大洲トスコレニ西大陸及澳大利ヲ合セテ

五大洲ト稱ス

五大洲ノ中四大洲ハ東半球ニアリ亞細亞 歐羅巴 澳大利 亞弗利加ノ四洲即是ナリ 西半球ニ在ル大陸ハ北亞米利加 南亞米利加ナリ

此五大洲ノ中尤大ナルモノハ亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ澳大利ナリ

此東西二球ヲ合セテ全地球トス

第五

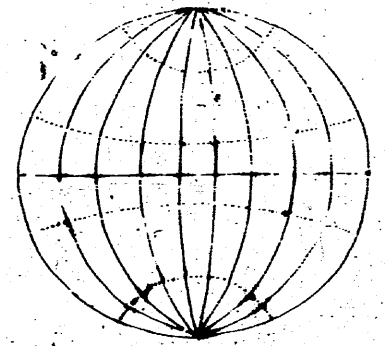
地圖ノ頂上ニ偏リタルハ北部ノ國ト云ヒ右傍

ニ在ルヲ、東部ノ國ト云フ下方ハ、南部ノ國ニシテ、左傍ハ稱シテ、西部ノ國ト云ヘリ。地球ノ表面ニ、縦横ノ線アリ、其南北ニ、引キタル線ヲ、經線ト云ヒ、東西ニ、引キタル線ヲ、緯線ト云フ。緯線ハ、地球ヲ一周スル所ノ圓ニシテ、等シク其間ヲ畫スルヲ以テ、南北ニ至ルニ隨ヒ、其周圍漸小トナルナリ。○經線ハ、皆南北ノ極ヨリ、引キ出ダシタル圓ナルヲ以テ、其長サハ、同シト雖、兩線ノ間、各差違アリ。

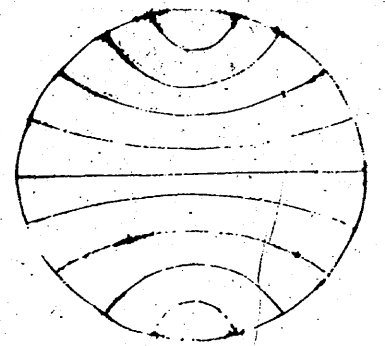
此經緯ノ線ハ、各三百六十アリテ、線トノ間ヲ、一度ト云フ。此緯線ノ度ヲ、數フルニハ、赤道ヨリ數ヘテ、南北ニ至ルナリ、假如ヘバ、赤道ヲ、零度ト定メテ、ソレヨリ北ヘ、二線ヲ隔ツレバ、北緯二度ト云ヒ、南ヘ、三線ヲ隔ツレバ、南緯三度ト云フノ類ナリ、但經線ニハ、其本ト定ムベキ所ナレ、我國ニテハ、東京ヲ本トシ、コレヨリ、西經幾度、東經幾度ト數フナリ。赤道ヨリ、南北共ニ、二十三度半ニシテ、各一線アリ。

リ、北ニアルヲ、夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ、冬至線
 ト云フ、此ニ線ノ間ハ、氣候極メテ熱シ故ニ稱シ
 テ、熱帶ノ地ト云フ、○南北ノ極ヨリ、二十三度半
 ニルテ各一線アリ、北ニアルヲ、北極線ト云ヒ、南
 ニアルヲ、南極線ト云フ、此ニ線ト、南北極ノ間ハ
 氣候極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト稱ス、○極線ト、
 二至線トノ間ハ、其氣候寒暖中ノ得ルニ因リ、稱
 ヲテ、中帶ノ地ト云フナリ、

經線圖



緯線圖



第六

地球上ニ、五大洋アリ、太平洋、大西洋、印度洋、南冰
 洋、北冰洋ナリ、

北冰洋ハ西半球ト東半球トノ北部ニ在ルヲ云
 フ○太平洋ハ東半球ノ東部ト西半球ノ西部ト
 ニ在ルヲ云フ○印度洋ハ東半球ノ中央ニアリ
 ○南冰洋ハ西半球ト東半球トノ南方ニアリ○
 大西洋ハ西半球ノ東部ト東半球ノ西部トニア
 ルヲ云フナリ○此五大洋其在ル所ノ地方ヲ以
 テ言ヘバ北冰洋ハ北亞米利加ノ北ト歐羅巴及
 亞細亞トノ北ニアリ大平洋ハ亞細亞ノ東ト南
 北亞米利加トノ西ニアリ印度洋ハ亞弗利加ノ
 東ニアリ大西洋ハ歐羅巴ト亞弗利加トノ西ニ

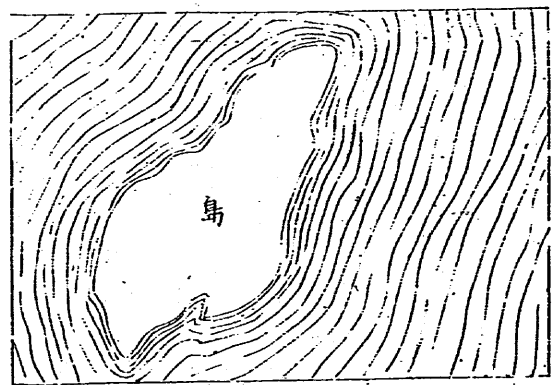
地理初歩

文部省

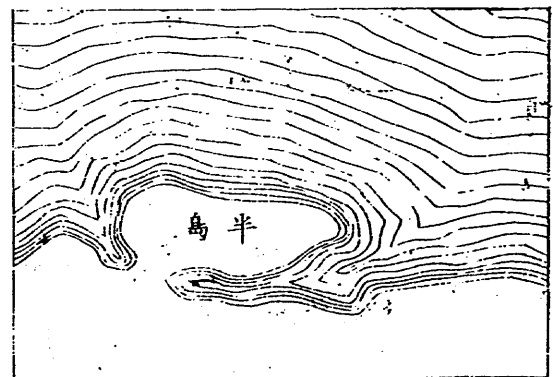
アリ、

第七

島 圖



半 島 圖



地理初歩

七

文部省

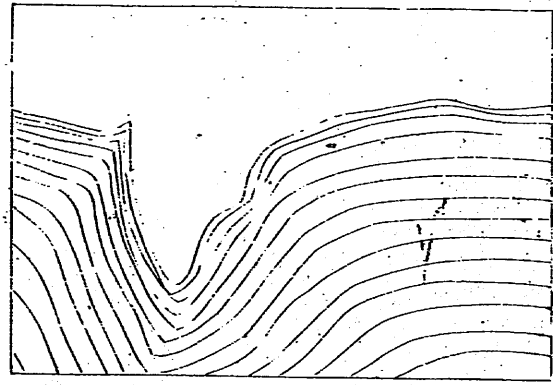
水四周ヲ圍ミタル地ヲ島ト云フ其形ハ三大陸ニ同シト雖小ナルヲ以テ名ヲ異ニセルナリ、大陸ニ續キタルヲ半島ト云フ、半島ト大陸ト續キタル其間ノ細クシテ且長キ地ヲ地頸ト云フ、大地ノ一角尖ヲナシテ遠ク海中ニ突キ出デク

地頸圖

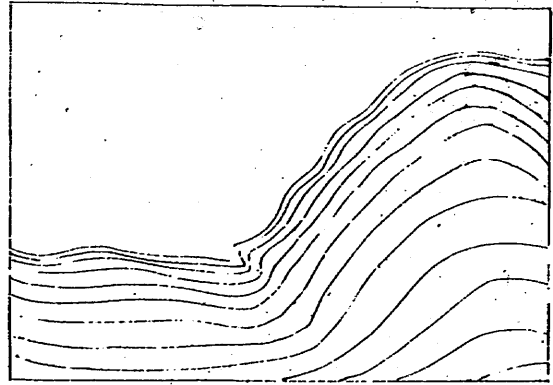


ル所又崎ト云フ

崎圖



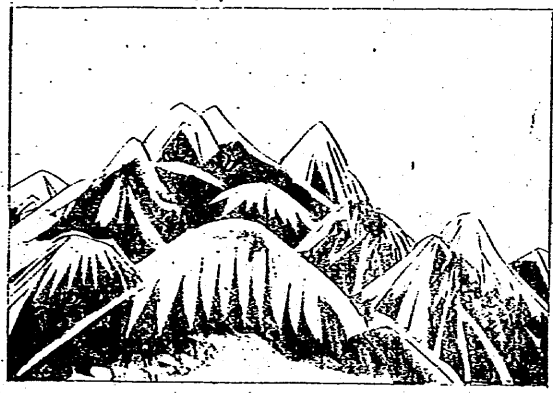
濱圖



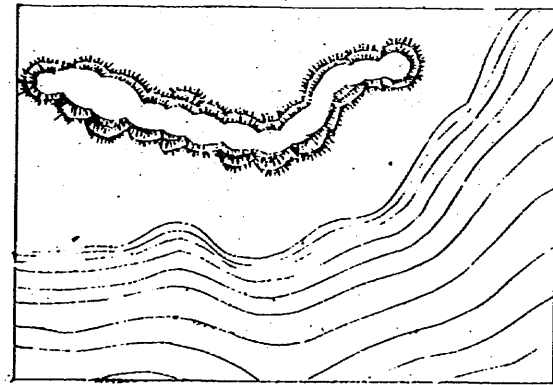
陸地ノ長ク海ニ浴ヒタル所ヲ濱ト云フ、

陸地上ニ、土石高ク起レルモノヲ山ト云フ
山ノ較小ニシテ低キ者ヲ岡ト云フ

山 圖



嶺 圖

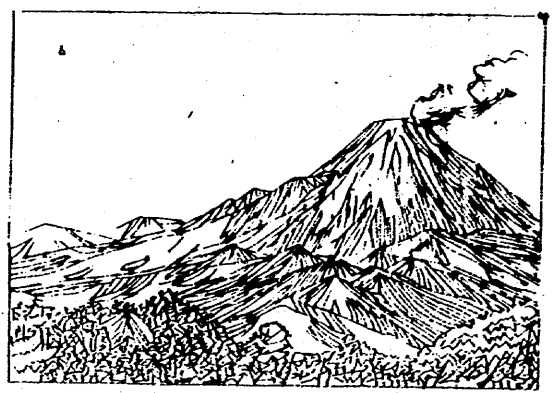


兩山ノ間ヲ谷ト云フ
山々相接シテ長ク亘レルヲ嶺ト云フ

山巔或ハ山背ニ穴アリテ、常ニ火烟ヲ噴キ出ダスヲ火山ト云フ
火山ハ時アリテ、燒石、浮石等ヲ噴キ出ダス者ナリ

地ノ廣平ナル者ヲ原ト云フ

火山 圖

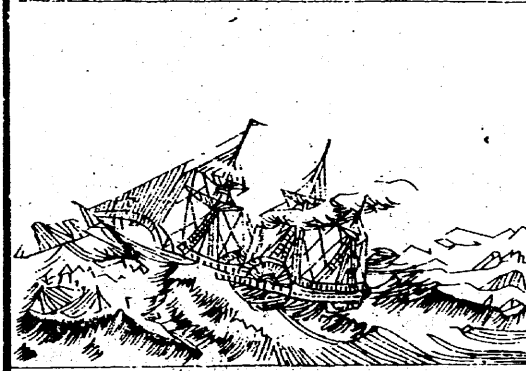


至ル所皆沙ニシテ水草ナキヲ沙漠ト云ス

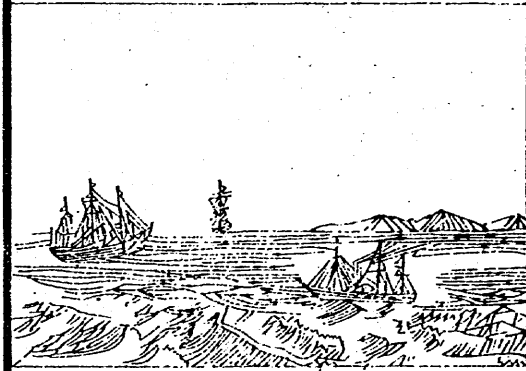
第八

大洋トハ海ノ廣大ナルモノヲ云ス

大 洋 圖

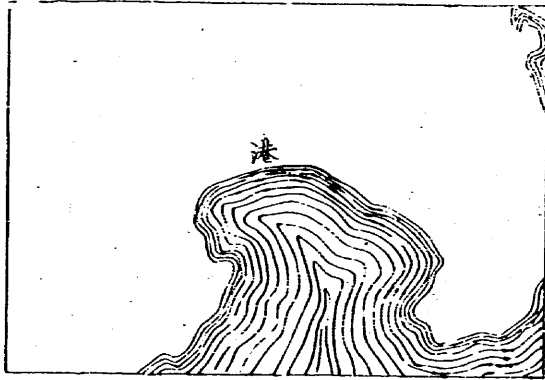


海 圖



海トハ兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云ス即大洋ノ分レタルナリ

港 圖

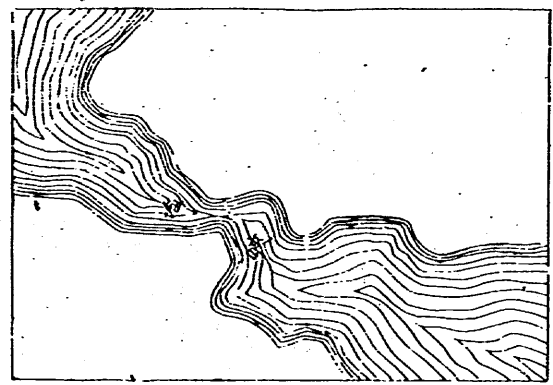


灣 圖

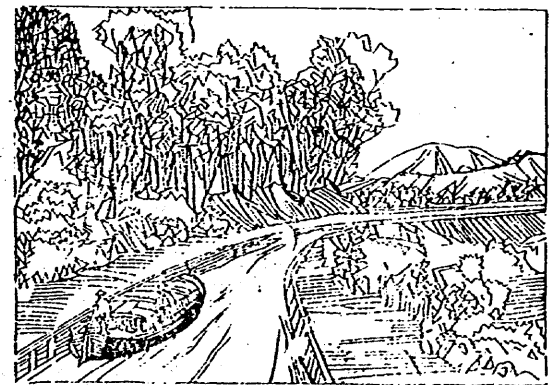


海ノ深ク陸地ニ入りテ船ヲ泊スルニ便ナル處
ヲ港ト云ス

海峽圖



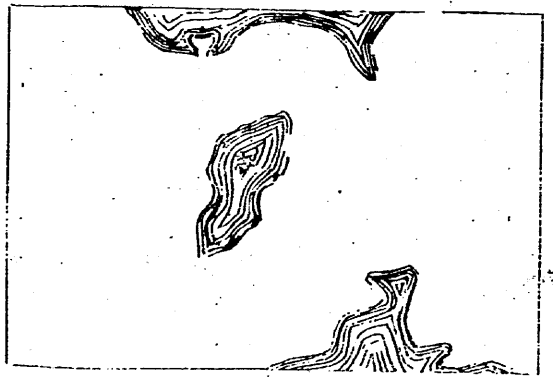
溝圖



水ノ陸地ニ曲リノレハ處ヲ濬ト云ス
陸地ノ間ニテリテ海水互ニ相通スハ狹キ所ヲ
海峽ト云ス

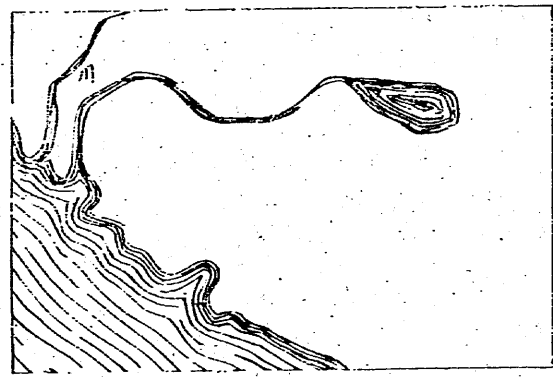
溝ハ人エヲ以テ鑿チ
通レタル者ニテ物
ヲ運漕スルニ用ヰル
水流ナリ
四面全ク陸地ヲ以テ
圍メタル處ヲ湖ト云
フ、其中或ハ一方河海

湖圖



ニ通ズルモノアリ、
川ハ陸地ノ間ニ流ル、水ヲ云ス、

川 圖



瀑 圖



川水ハ始テ流レ出ヅル所ヲ源ト云ス、
其流小ナルキハ小川ト云ス、マタ深廣ニレテ
大船ノ往來スベキモノヲ大河ト云ス、
水ノ山上或ハ高キ所ヨリ、急ニ低キ地ニ落チ下
タルモノヲ瀑ト云ス、

地理初級終

明治十四年一月廿日御届
同 年三月廿日出版



静岡縣平民

出版人

齋藤源三郎

遠江國敷知郡濱松驛紺屋所
貳拾貳番地居住

大坂府平民

出版人

中島半七

遠江國敷知郡濱松驛馬冷
貳拾四番地寄留

